

ES 関東クラブカップを制す

木村佳司

クラブカップリレー大会 2009 年 9 月 20 日 長野県菅平高原

ES 関東 C がクラブカップを制した。(6 年ぶり 2 回目)
OLP 兵庫が秒差の 2 位。

2009 年 9 月 20 日 長野県菅平高原
第 17 回クラブカップリレーオリエンテーリング大会

第 17 回クラブカップリレー結果

- | | | |
|-------------|--------------|-------|
| 1 ES 関東 C-A | 4:44:51 | |
| 山本真司 | 小林岳人 | 土井 聡 |
| 渡辺円香 | 藤沼 崇 | 加藤弘之 |
| 山口大助 | | |
| 2 OLP 兵庫 | 4:45:35 | |
| 岩倉毅 | 大嶋真謙 | 安田太郎 |
| 城森博幸 | 山本賀彦 | 橋本裕志 |
| 片山裕典 | | |
| 3 ときわ走林会A | 4:50:58 | |
| 朴峠周子 | 佐々木良宜 | 神谷泰介 |
| 稲葉 茜 | 早瀬 悠 | 高橋雄哉 |
| 小泉成行 | | |
| 4 名相第 1 チーム | 4:56:30 | |
| 片岡裕太郎 | 沢厚太朗 | 谷川友太 |
| 水野日香里 | 大牧勇人 | 松井健哉 |
| 林 真一 | | |
| 5 多摩 OL-A | 5:07:35 | |
| 菅原 琢 | Joerg Vetter | |
| 多田宗弘 | 宇野浩一 | 真名垣友樹 |
| 前田裕太 | 円井基史 | |
| 6 トータス B | 5:07:54 | |
| 齋藤翔太 | 国沢五月 | 山田高志 |
| 星野智子 | 野本圭介 | 小山温史 |
| 石澤俊崇 | | |



2 位となった OLP 兵庫のアンカー片山。
一時は ES 関東に並んだが抜け出せず秒差で振り切られた

ベテランカップ結果

- | | |
|---------------|---------|
| 1 京葉 OL クラブ V | 3:16:48 |
| 宮本幸治 | 宮本知江子 |
| 早野哲朗 | 田中 徹 |
| 2 多摩 OL-D | 3:32:49 |
| 加藤昭次 | 藤正正敏 |
| 小野賢二 | 鈴木規弘 |
| 3 入間市 OLC-B | 4:32:26 |
| 須藤 馨 | 渡辺加与美 |
| 田島三郎 | 田中 博 |



ススキが広がる秋晴れの高原を ES 関東のウイニングラン。
5 走の藤沼崇(左)とアンカー 7 走の山口大助(右)

辛勝・ES 関東

今年の ES 関東は男女の日本代表選手を 4 名も揃えたチーム構成。圧倒的な力を見せ付けるだろうと予想されていた。だが終わってみると優勝はしたが OLP 兵庫に秒差まで詰め寄られ、辛くも逃げ切ったというところ。

菅平高原の芝牧地区トレインに翻弄され多くのミスを重ねたようだ。それでも地力に勝る ES 関東が勝ちをもぎ取った。

どんなにミスを重ねようと優勝は優勝。2003 年以来 6 年ぶり 2 回目の歓喜に酔った。

チームカラーで対決

男女混合リレーを基本とするクラブカップだが、その柔軟なレギュレーションにより、各クラブはチームカラーにあった選手起用をしていく。

クラブチームとして男女をバランスよく出場されているのは、優勝した ES 関東、3 位のときわ走林会。6 位のトータス。ベテラン男子で固めて上位を目指したのが、2 位の OLP 兵庫と 5 位の多摩 OL。若者の男女で挑んだのが 4 位の名相第 1 チームだ。それぞれのクラブの特徴が現れていると思う。

名相チーム大活躍

難易度の高いコースにも関わらず、名古屋大学、相山女学園大学の学生で構成する名相チームが 4 位に食い込む大健闘を見せた。今回のクラブカップは難易度が高く、多くのベテランチームが大きく崩れる中、最後まで名相チームは粘って入賞の栄冠を手に入れた。学生の中でも勢いがある名古屋・相山両大学の實力を見せ付けた。

京葉・ベテラン優勝

いっぽう、ベテランカップでは京葉 OLC が圧勝した。メンバーを見ると、いよいよ第一次インカレ世代がベテランの主力選手となってきたのかと年の流れを感じずにはいられない。

このクラスも年々激しい争いになりそうだ。それに加え、さらなるご長寿チームを表彰対象としてもよい時期に來ているような気がする。



クラブカップリレー1走のスタート。日本中のクラブの意地がぶつかりあう。

難し過ぎたコース

今回のクラブカップのコース設定は難易度が高過ぎたようだ。完走率の低さがそれを物語っている。その結果、楽しめるレースが提供できていないと言えない状況であった。

筆者・木村も今回のコースを事前に目を通していたが、別段難しいコースだとは思っていなかった。

ところが実際は違っていた。やはり現地に行き、複数の目で試走を繰り返さないと、最適なコースにならないことを改めて実感した。

筆者・木村はこのテレインはよく入っており、テレインの性質をよく理解していた。そのため難しいテレインだという実感が無かった。地図自体はGPSで丁寧に調査されており、コンパスを信じて歩測直進すれば、まずたどり着ける。リロケートが難しいのでいい加減なアタックをしてはいけないのがこのテレインの鉄則である。

開催時期が秋ということが難易度を1つも2つも押し上げた。春先はテレイン全体の見通しが利き、芝生の上を走るようなテレインだが、秋はススキが

生えてテレイン視界が悪化した。これが大きくナビゲーションに影響した。

実際にクラブカップのコントロール設置を行う際になって特徴物を見つけにくいことを実感した。

個人のスキルに頼りすぎるとどうしてもミスが抑えきれないのは、古今東西の常識。今後のクラブカップでは複数の目によるコースチェックによって、全国から期待されるに相応しいクラブカップのコースにしたい。

(木村佳司)

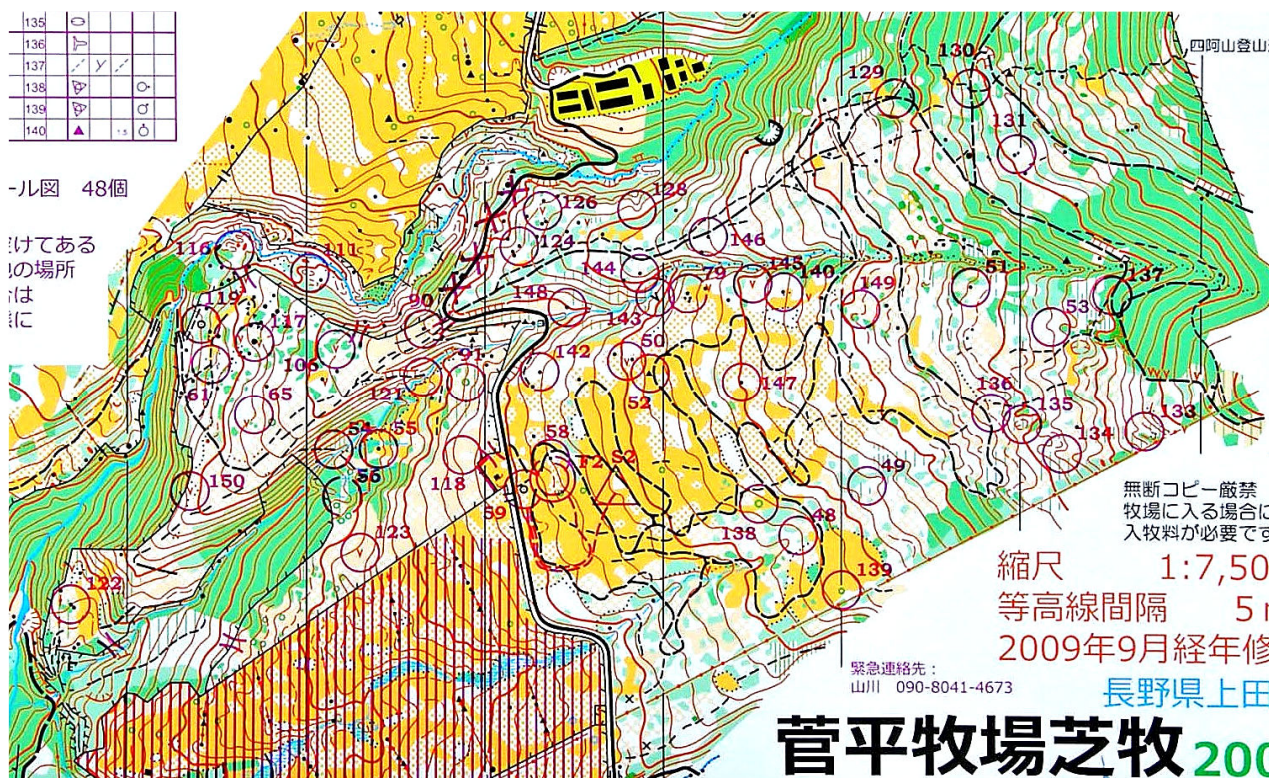


1走がスペクタータースコントロールに戻ってくる。まだまだ集団でのレース展開。

135	0		
136	1		
137	2		
138	3		
139	4		
140	5		

ル図 48個

けてある
の場所
は
に



無断コピー厳禁
牧場に入る場合には
入牧料が必要です

縮尺 1:7,500

等高線間隔 5m

2009年9月経年修正

長野県上田市

菅平牧場芝牧2009